

ンガ第一、アイボリート花王トハ同等、M石鹼ハ最モ劣ツテ居リマスガ、同一ノ代價ニ就テ其有効成分ヲノ量ヲ比較スレバM石鹼ガ第一等デ其次ガアイボリー、其次ガスワン、又其次ガ花王石鹼デアリマス。

話シハ右ニテ終リマシタ。始メニモ斷リマシタ通り極メテ粗糲ナ仕方デアリマスノデ此結果ハ餘リニ深ク信用シテ貰フテハ困ルノデアリマス。只石鹼ノ優劣ヲ決定スルニハ斯ノ如キ見方モアルモノデアアル位ノコトヲ見テ貰ヘレバ自分ハ夫レデ満足スルノデアリマス。

圖書教授上の新語

客員 訓導 藤 五代 策

近時圖書教授法の進歩するに従ひて、其の用語にも新らしく聞き受くるものも少からざれば爰に其の必要なるもの數種を掲げて之れが解釋を下すべし。

一 シルエット Silhouette

此の法は影法師の如き眞黒の畫にして輪廓のみ明瞭に書き現はす法なり。繪を描くに最も必要なことは形狀なり、此の形狀を明瞭に見取るには空間と物体とが如何なる形に限られたるかと思ふことを見定むること最も肝要にして、物体内部の細密なる點は輪廓の定まりたる後に描くべきものなり、而して其輪廓を現はすに線にて現はすことあり、又眞黒に塗り潰すこともあり、其の

眞黒に塗り潰す方法をシルエツトと稱するなり、此方法は圖書教授の最初に行ふべきものにして、近時歐米各國にては盛に此の方法を採用しつつあり。

二 スペース、レレーション Space Relation.

スペースと云ふは空間と云ふことにしてレレーションは關係と云ふことなり、凡ての物体が限られたる空間内に最美的の形を占有せしむるには、所謂變化と統一とに依て美的に見える様に配置せざるべからず、例へば茶棚の正面を見よ、抽斗、扉、押入等大中小種々の變化あり、併かも各部分がよく統一して見ゆるが故に、吾人に快感を與ふるなり。斯の如く空間と物体との美的關係に付て講究する法をスペース、レレーションと云ふなり。

三 テーブルライン Table line.

テーブルは机にしてラインは線なり飛鳥、風船等の如く高く空を飛翔するものは、別に地平線を描く必要あらざれども、コップ、瓶、箱類の如く地面又は机上に置かれたるものは描畫の後方に一本の地平線を引くときは其の物体は如何にも安定して見ゆるなり、此地平線をテーブル、ラインと稱するなり、我日本畫には之れを用ひたるものなし、故に日本畫は悉く浮きたるやの感あり、これ等は尤に日本畫の改良すべき點なるべし。

四 フリーアーム Free Arm.

是は所謂腕を伸ばして自由に描かすと云ふことにして、兒童が常に狭き紙面に腕を縮めて小さく描くことのみでは、遂に伸び伸びしたる、畫を描くこと能はず、されば教師は時々兒童をして塗板上にチョークにて膽大きく描かせ、又は廣き紙に木炭等にて大形に描かすべし、獨國の小學校にては畫板を机上に立て、長き鉛筆にて大きく描かす練習をなさしめ居れり我圖書敎授の上にも適用すべき一事なるべし。

五 ウォーキング・ドローイング Working Drawing.

工業圖と云ふことにして、形態の實際を明瞭に會得せしむるにあり、之れが方法としては、物体の正面圖、平面圖、側面圖等を、圖引器械を以て、投影圖にて描くべし、舊來の圖書敎授に於て、工業圖は頗る軽く用ひられたるも、世運の進歩するに従ひ、一般の兒童に此の圖法を描かしめ以て、大に工業思想を養成すべし。

色に關すること

六 飽和色 Saturated Colour.

純粹色を飽和色と云ひ、不純粹色を不飽和色と云ふ、太陽の光線を、三稜鏡によりて分解すれば黃、赤、青、綠、橙、紫の六色を得べし、通常此の六色を飽和色と稱へ、此の六種色の明色暗色或は、他の混合色を不飽和と稱するなり。

色ノバリエー Balre.

一畫面中に於ける或る色と或色との均合ヨクスルナリ例へは近景の色と中景の色とのバリエー宜しと云へは近景と中景との色のトーンが程よく快感を與ふるを云ふなり。

近景の色余りに強きに失し快感を與へざるものはバリエー惡しきなり。

故に一つの風景畫を描くに中景は近景に對し近景は中景に對しバリエー宜しきを得ざるべからず二色の見分けつかざる様に相接近したるトーンモ宜しからず又甚だ異なるも宜しからず中庸を得るにあり。

色の調子 Tone.

之ハ畫ニアルニアラズ繪具其ノモノニアルナリ恰モ音聲ニ音階アルガ如ク色調ニ差異アルヲ言フナリ

小學校ニテハ正色第一明色第一暗色ノ三トーンナハ色ヲ用フコノ三ツノトーンハヨキバリエーヲ得ルモノナリ

色ノ調和

一、色ノ尤モ宜シキ調和ハ餘色關係ナリ凡テノ色モ此ノ原理ヨリ推考シ得ルナリ但シ綠ニ對スル赤ハバルコーアマリニ強キニ失ス

二、グラデーシヨン單一ナル色又ハ相似タル色ハ次第ニ階級ヲナシテ變化シ居ルコノタメニ起ル調和ナリ

例ヘバ花遠近草木ノ葉等餘色關係ヨリモ自然界ニ不遍的ニ行ハレ居ルナリ

三、如何ナル色ニテモ明暗又ハ暗色トナセバヨク調和スルモノナリ而シヨキバリテユーヲ得ザルベカラズ余リ近キモノ又ハ余リニ遠キハ宜シカラズ

四、相反スル調和セザル色ヲ調和セシムルニハ其ノ中間ニ二色ニ關スル色又ハ白ヲオクベシ
五、黒白金銀ノ如キ色ハ余テノ色ニ調和ス

六、相近キ色ハ比較的ヨキ色ヲ得ルナリ即或ル色ニ緣故アル色ハ其ノ色ト調和スルモノナリ例ヘバ赤ニ對シ紫又ハ橙ハ全ク綠ナキ黃又ハ青ヨリモ調和宜シキナリ色ノ對比 Contrast.

全色又ハ異ナル二色ヲ相近ヅクトキニ互ニ相引キ立チテ見ユルヲ云フナリ例ヘバ全色ナル異調子ノ a b ノ各離シテ見ルヨリモ相接近セシメタルトキハ一方ハ益々暗ク一方ハ益々明ク見ユベシ又異色ノモノ例ヘバ餘色關係ノ如キモ一種ノ照應即

チコントラストナリ

赤ノ側ニ綠ノ紙片ヲオクトキハ赤ハ益々明晰ニ赤ク綠ハ益々アデヤカニ見ユベシコノ對比ニ共存的照應ト繼續的照應トアリ、前者ハ二色ヲ全時ニ見ルトキニ起ルヲ言ヒ後者ハ時間ヲ異ニシテ繼續シテ來ル色ト色ノ間ニ起ルヲ言フナリ例ヘバ綠ナル葉ヲ見ツメテ直チニ赤キ花ニ目ヲ轉ズレバ赤ハ實際ヨリモ一層赤ク見ユベシ

而シテコノコントラストニハヨク調和スルモノト調和セザルモノトアリ赤ニ對シ黃ノ如キ原色關係ハ惡シキコントラストナリ全色ノ異色又ハ餘色關係ノ如キハヨキ對比ナリ

家庭の娛樂

技藝科二年 坪 内 す え

家庭といふものが如何なるものであるかと云ふ様な事は今更私が事新らしく申すまでもなく皆様がよく御存じの事で御座います。

其家庭が圓滿であつて和氣がみち／＼て居る程人生にとつて幸福は御座いません、斯様に和氣緩々たる樂園には悲風慘慄たる荒風は吹きこむ術もなく澎湃として天をつくの荒波もこの港灣には達すべき道ありません只春の微風と暖き光とはいつてもここに満ちて居ります、この様でありますれば其光に照され其香をめでて蝶も來ませう蜂も來ませう又鳥も來ます斯様になりまれば家